

会告

平成20年度 工学教育連合講演会 開催案内と参加募集

魅力ある工学教育 —新しい学部教育の姿—

右肩上がり経済の海を国の教育行政という自動操縦に頼ってきた大学護送船団は、経済の低迷と少子化に荒れる海を自力航行する事態をむかえて、航路を定める力を失い漂流し始めた。工学部に限らず学部教育が新入生の高次教育補習と専攻の初年次教育に時間を多く取られるようになって以来、大学卒業生の専門資質の低下を指摘する声が高まり、工学教育という「ものづくり立国」の基盤の揺らぎに対する社会の不安が広がっている。いま多くの工学系大学は少子高齢化に加えて受験生の理工離れと言う荒天のさなかにある。しかしこれは社会が成熟段階に達する時に特有の試練と受け止めたい。今求められているのは工学教育プログラムを「ものづくり立国」の基盤にするために広い年齢層に魅力あるものにする努力であろう。

本講演会では、国家的な急務である低下した大学生の学力改善に努力し、また科学・技術リテラシーの広がり力をいれている工学教育の事例を紹介し、情報交換とともにパネル討論をとおして工学各分野の特に学部教育の将来を検討し、そのあるべき姿を討論する。

日 時：平成20年9月5日(金) 10:00～17:30(受付開始：9:30)

会 場：日本建築学会建築会館ホール
〒108-8414 東京都港区芝5-26-20 建築会館
JR(山手線)「田町駅」三田口(西口)、地下鉄(都営三田線)
「三田駅」下車徒歩5分
会場地図 <http://www.aij.or.jp/jpn/guide/map.htm>

主 催：日本工学教育協会

共 催：日本建築学会(幹事)(以下五十音順) 化学工学会、計測自動制御学会、資源・素材学会、自動車技術会、情報処理学会、精密工学会、繊維学会、電気学会、電子情報通信学会、土木学会、日本化学会、日本機械学会、日本教育工学会、日本金属学会、日本経営工学会、日本原子力学会、日本工学会、日本設計工学会、日本セラミックス協会、日本鉄鋼協会

後援(予定)：文部科学省 経済産業省 国土交通省 厚生労働省
日本学術会議

協賛(予定)：日本経済新聞社 日刊工業新聞社
日本工学会アカデミー フジサンケイビジネスアイ

定 員：300名(先着順)

参加費：主催者協会会員：5,000円 非会員：7,000円(資料代を含む)

申込方法：日本工学教育協会HPからお申し込みください(8月7日より受け付け開始予定)。

参加費は下記の指定口座にお振込みください。

振込先：三井住友銀行三田通支店(普通)6867655

口座名：(社)日本工学教育協会連合口

※領収書が必要な方は別途ご連絡ください。

申込先：工学教育連合講演会事務局

(社)日本工学教育協会 〒108-0014 東京都港区芝5-26-20

建築会館4階(担当 川上)

Tel: 03-5442-1021 Fax: 03-5442-0241

URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/jsee/>

工学教育連合講演会とは

工学教育連合講演会の目的は、工学教育を取り巻く近時の社会的環境の変化を踏まえて、工学教育に関心の深い主要学協会が連合し、これからの工学教育のあり方について、各学協会からの講演と多角的な議論情報交換により、工学教育の一層の改善と工学・技術の発展に寄与するために開催しております。

平成20年度 工学教育連合講演会プログラム

開会挨拶 (10:00～10:10)

稲葉武司(工学教育連合講演会 実行委員長, 日本建築学会 建築教育委員会委員長)

セッション1 成熟社会の工学教育 (10:10～11:25)

座長：増子富美(日本女子大学教授)

- 「協調演習による理学的知力の育成支援」 泉 俊輔(広島大学教授)
- 「レクチャー・ラボ統合型授業に基づく機械工学教育カリキュラム」 岩附信行(東京工業大学教授)
- 「ロールプレイングによるプロジェクトマネジメント(仮)」 浦江真人(東洋大学准教授)

特別講演(11:25～12:15)

司会：稲葉武司(日本建築学会建築教育委員会委員長)
「工学教育の未来を語る『瀨名秀明がゆく! 東北大学機械系』の取り組み」
瀨名秀明(SF作家, 東北大学工学部特任教授)

— 昼休み (12:15～13:15) —

基調講演(13:15～14:05) 司会：元岡展久(お茶の水女子大学准教授)

「企業改革と大学改革を通して考える理工学教育の将来像」
吉武博通(筑波大学理事・副学長)

セッション2 工学教育の中を広げる (14:05～15:20)

座長：寛捷彦(早稲田大学教授)

- 「これからの大学における一般情報教育のあり方—高等学校教科情報踏まえて—」 河村一樹(東京国際大学)
- 「JABEE認定プログラムに求められるファクターと工学教育の魅力アップ」 篠田庄司(中央大学教授)
- 「実践的なものづくり能力の育成—全日本学生フォーミュラ大会—」 加藤幹夫(榎本技術研究所)

— 休憩 (15:20～15:30) —

セッション3 パネル討論 魅力ある工学教育をつくるために

(15:30～17:20)

司会：五十嵐 健(工学教育連合講演会 副実行委員長, 早稲田大学理工学術院客員教授)

討議テーマ：ものづくり教育の新たなリテラシーとは

パネリスト：「CSRと地球環境時代のものづくり教育(仮)」

木俣信行(鳥取環境大学教授)

「高専のものづくり教育と今後の展望(仮)」

水谷惟恭(東京工業高等専門学校校長)

「未定」

川島一彦(東京工業大学教授)

篠田庄司(中央大学教授)

加藤幹夫(榎本技術研究所)

閉会挨拶(17:20～17:30)

五十嵐 健(工学教育連合講演会 副実行委員長)